



## 学校生活や学業成績の振り返りをする時期です!!

### 卒業・進級について

3年生は卒業後の準備は進んでいるでしょうか。学習面・生活面とも今から慌てず少しずつ準備を始め、4月からの新生活に戸惑わないようにしましょう。ほとんどの生徒が親元を離れての生活になります。自立・自律した生活を送れる心構えはできていますか。高校生活での経験を活かし、新しい職場や学校で大きく成長することを期待します。

1・2年生は、学年末考査も終わりました。一息ついているところだと思います。これからも落ち着いた学校生活を送りましょう。年度末にもなり、学業成績や学校生活の振り返りの時期になっています。この1年間自分がどのように成長してきたかを自己分析してみましょう。

### 成績について

学年末考査も終わりました。通知票が終業式当日に渡されますが、1年間の成績を振り返るためにも、通知票を確認して、すぐに評定平均を自分で出してみましょう。

#### ○ 評定について

「評定とは各教科の成績を5段階で表したもののこと

5	4	3	2	1
100～80	79～65	64～45	44～30	29以下

#### ○ 評定平均の求め方

評定平均の求め方は、履修した全科目の評定を合計し、その科目数で割るだけです。小数第二位を四捨五入して小数第一位まで求めるので、「4.3」とか「4.5」といった数字で表されます。

本来は、高1から高3までの履修したすべての科目が対象となります。

$$\text{評定平均} = \frac{\text{1年～3年までの「全教科・科目の評定の合計」}}{\text{すべての科目数}}$$

今回は、自分の一年間の学習の反省のために学年ごとの仮の評定平均を求めて、今後の学習目標の設定し、春休みの学習を計画的に進めましょう。

#### ○ 1年生

1年生は、選択科目がないので、履修した科目は全員12科目です。科目の評定の合計を12で割ります。(国語総合は、現代文と古典の評定をまとめたものになります。)

教科	国語	公民	数学		理科	保健体育		芸術	英語		家庭	情報
科目	国語総合	現代社会	数学I	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽I	C英I	英表I	家庭総合	情報と社会

## ○ 2年生

2年生は、選択①と選択②がありますが、選択群から1科目の選択なので、履修した科目は全員12科目です。科目の評定の合計を12で割ります。

教科	国語		地歴		数学		理科		
科目	現代文B	古典A	選択① 古典演Ⅱ	世界史A	日本史B	数学Ⅱ	選択② 数学B	化学基礎	選択① 物理 生物
教科	保健体育		体育	芸術	外国語	家庭	情報		
科目	体育	保健	選択② スポーツⅠ	選択② 音楽Ⅱ	C英Ⅱ	選択① フードデザイン	社会と情報		

## ○ 評定平均を求めたならば

評定平均を求めて、良かった、悪かっただけでなく、自分の成績を振り返り、1年間の反省をしましょう。自分の成績が上がった部分はどこか。どの様に勉強して成績を伸ばしたのか。また、自分の弱点はどこか。どの様にすれば、弱い所を補えるのかを考えましょう。今年度の成績の自己分析にしっかりと取り組み、次年度の学習目標を設定し、成績を向上させる努力をしましょう。

特に進学希望先が明確な生徒は、その学校の推薦条件を調べておくことが大事です。今後の学習の目安にもなります。ただし、学校の推薦条件の評定平均は、あくまでも最低限のレベルです。推薦条件の数値を上回っているからと学業が疎かにならないようにしましょう。

## 学校生活について

### ○ 自分の1年間の行動実績も振り返ろう。

成績以外にも、部活動・委員会活動・学校行事など1年間の実績を振り返りましょう。就職試験や推薦入試の面接で高校での生活を質問される場合が多いです。例えば、「高校での一番の思い出は何ですか。」「高校で一番頑張った事は何か。」などです。学年ごとに自分の行動や考え方を振り返り、今使っている手帳にメモで残しておく、3年生になってから、面接練習や履歴書・志望理由書等で頭を悩ませることが少なくなります。

自分の振り返りをする際は、悪い面ばかりを見つけるのではなく、入学してから高校生活を通して成長してきたことはどんなところかを見つけ出していきましょう。学業や運動・体力といった部分だけでなく、精神的な部分でどの様に成長してきたかを振り返りましょう。過去の自分と現在の自分がどの様に成長し、違ってきているのかを確認することで、今後の成長したい自分を見つけることもできます。

また、各学年で総合的な探究の時間を使って、探究活動を行っています。この活動を振り返ることによって、現在の自分の意識や考え方を整理することができます。自分と社会の関係・自分と地域の人達との関わりを見つめ直し、今後、自分がどのように関わっていけばいいのかを考える機会にしましょう。

### ○ 自分を見つめ直して、自分の将来を考えよう。

成績や自分の実績を振り返ることで、自己分析や自己理解が深まっていきます。自分の特長や長所を理解することで、その特長や長所を活かした進学先や職業を考えることに役立ちます。

高校を卒業してすぐ就職する場合でも、大学・短大・専門学校に進学する場合でも、自分の興味のあることや関心のあることを自分自身が理解していないと仕事や学問に対しての意欲も長続きしないものです。

自分のやりたいことが明確になってきた生徒は、自分の進路に対して、職業研究や学部・学科調べに積極的に取り組むことができますし、保護者や担任に自分の意思を自分の言葉で話すことができ、納得もしてもらえます。

3年生になって、就職のため履歴書や推薦入試の志望理由書といった書類を作成する段階で、何を書いているのか分からない状態が無いように、自己理解を深め、自分の将来像を探っていきましょう。

進学を考えている生徒は、春休み中に学校見学を計画してみましょう。コロナ禍で直接学校に行くことは難しくなっています。そういった場合は、WEBサイトでのオープンキャンパスを有効的に活用してみましょう。第1希望ばかりでなく、第2・第3希望もオープンキャンパスに参加しておく、比較検討ができ、受験校を決定する際の有力な情報源になります。自分の感じたことや気になったことを、ノート等に記録を残しておくことが大切です。